

『生涯学習まちづくり推進大会』

2月18日(日)、大崎町中央公民館において、平成18年度大崎町生涯学習まちづくり推進大会が開催されました。

この日は、シニアリズム体操、マナー&着付け講座、フラダンス講座などの生涯学習活動発表やフラワーデザイン、押し花絵、カントリーボール講座などの展示コーナーが設けられ、各講座の1年間の成果が披露されました。

また、プログラムの最後には、林家染二師匠・林家花丸さんによる林家一門落語会があり、会場は終始笑いの渦に包まれていました。



▲フラダンスを披露する講座生



▲国道220号沿いのごみを拾う有明高校の生徒

『有明高校生がボランティアでゴミ拾い』

2月23日(金)、県立有明高等学校の1学年82人と2学年91人が、ボランティアで学校周辺のごみ拾いを行いました。

この活動は、ごみ拾いを通じてボランティアへの理解と関心を高めるとともに、積極的に地域社会に貢献する精神を養うことを目的に、生徒会活動の一環として毎年行われています。この日は、国道220号と県道宮ヶ原大崎線沿いのごみ拾いを行い、道ばたに落ちていたビールの空き缶や紙くずなどの多さに、生徒達はたいへん驚いている様子でした。

みなさんごみのポイ捨ては絶対にやめましょう！

『中沖小学校2学年が防犯用看板を設置』

全国的に子どもが犯罪被害に遭う事件が多発していることを受け、中沖小学校の2学年PTAでは、年間学級目標に掲げている交通安全対策の一環として、2月25日(日)、防犯用の立て看板の作製と設置を行いました。

この日は、2学年の児童8人とその保護者らが看板5枚に、防犯標語“いかのおすし”(いかない、のらない、おお声でさけぶ、すぐ逃げる、しらせるの頭文字)などをペンキで書き込んだあと、正門前や学校周辺に設置しました。篠田美朗校長は「子ども達に犯罪に対する意識を高めてもらいたい。」と話されました。



▲正門前に防犯用看板を設置した中沖小学校2学年の児童と保護者ら

広報おおさき2月号で、タウンとぴっくすに掲載しました『喜寿を祝って同窓会を開催』の記事中に誤りがありました。「卒業時135人…」とあるのは「卒業時202人…」でした。お詫びして訂正します。